

人は行動した後悔より、行動しなかった後悔が深く残る

最も年少のメル友（小学校高学年）が、学校で発達障害の子がからかわれているのを見て、「なんでそんな事言うの？ 自分がもしこの子と同じ様にかからかわれたら どんな気持ちにする？」と大きな声を出して言いうと、友達は謝ってきたとか。さすが、幼いながらも、我がメル友！

親としては、心の中では「良くいった。えらいよ」と思っているだろうが、はらはらドキドキでないかと想像するが、メル友へ次のようにエールを送った。

【 からかわれている友を見て、ちゃんと云った○子ちゃんの勇気に拍手を送ります。一人一人が、○子ちゃんのように勇気があれば、いじめなんて少なくなるのにね。勇気をもって行動していると、必ず応援してくれる人が出てきますからね。 「人は、行動した後悔より、行動しなかった後悔が深く残る」という言葉があります。 からかわれている人を見て、見て見ぬふりをして黙っていると、いつまでも後悔しますよね。 私は、言葉の中で「勇気」という言葉が一番好きです。 】

特に、こうした人としての勇気ある行動を、教師としてしっかり評価していることを周りの生徒にも伝えることが、いじめ問題に取り組む時はなおのこと必要かと思えます。

また、あるメル友である親から、中学校で同じ部活の我が子と他の二人の靴のヒモが、部室に誰かが侵入して刃物で切られたと、顧問と教頭先生が靴も持って自宅に事情を説明にきたとか。

このメル友は、【 犯人探しはしなくともいいのではないか。ただ、事の内容は公表していただき、みんなで考えて欲しいなと伝えました。 】とのこと。この親もさすが我がメル友！

早速、このメル友へも次のようにエールを送った。

【 私も同じように先生方に云いますね。先生方の話し方がベターとは限りませんから、生徒たちにどう話したか、後で先生に聞いた方がいいですよ。それが、こうした問題の学校と家族の連携のあり方ですからね。 】

追伸：後日可愛いメル友から次のように返信があった。

【 あの時は、その人がかわいそうだったので、腹が立ち言ってしまったんだと思います。また、担任の先生も皆にしっかりと伝えてくれたので良かったと思います。これからはしっかりと皆に「人の気持ち」がどれだけ大切かを解ってほしいです。 】

(2006年12月11日 記)